おひさま

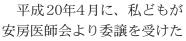
2014

1 月号 新年号

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 http://www.awairyo.jp/ 発行責任者:水谷正彦 編集責任者:大川三喜男

年のはじめに

社会福祉法人太陽会 理事長 亀田信介



安房地域医療センターも、早いもので6年目を迎 えております。

当院の特徴は、救急受診者数が非常に多く、 入院の8割近くが救急からの入院となっていることです。よく地域医療の崩壊がニュースで取り上げられますが、そのほとんどの場合が救急医療の崩壊を意味します。

救急医療は医療の根幹であり、地域の皆様の安全で安心な暮らしのために、なくてはならないサービス基盤です。しかし医療者側にとっては24時間、365日、予定の立たない急患に対応しなくてはならず、スタッフの肉体的、精神的負荷は大きく、より多くの人材を必要とします。

しかも経済的評価は決して十分ではないため、病院の経営には大きな負担となります。当院も決して例外ではありません。しかし社会福祉法人にしかできない使命を果たすために、職員一丸となって取り組んで来ました。

一例をあげれば、ハード面では、さらなる救急

医療の充実に向けた新救急棟の建設。また人材の確保、養成に向け初期研修医・後期研修医プログラムの構築。さらに医療の質向上に向けたISO等品質管理システムの導入や医療機能評価機構の認定取得等、短期間で多くのチャレンジを行ってきました。

そして本年4月には、当院が主たる実習病院となる「(仮称)安房医療福祉専門学校」がいよいよ開学いたします。この学校の特長は、誰もが、いつ、どこからでもチャレンジできるサポートシステムを作り、将来にわたって地域で活躍する人材を、地域の力で育てようとしている点です。将来的には家族を養いながらでも生活を維持できるような仕組みを立ち上げ、キャリアアップし続けられるシステムにつなげたいと考えています。

さらに今年は、虚弱、独居、貧困等、様々な問題を抱えた高齢者が、自分らしく安心して暮らせるモデル住宅を、安房地域医療センターや安房医療福祉専門学校と連携して開設しようと計画しています。

急激な長寿化と情報・通信革命により、世界 規模の社会システム革命が求められています。安 房地域医療センターでは、その一翼を担うという 高い志を持ってこれからもチャレンジし、変化し続 けたいと思います。

専門学校〜建設カウントダウン〜

(仮称) 安房医療福祉専門学校の校舎の建設が順調に進んでいます。

鉄筋コンクリート3階建てで、1階には実習室、事務室、教員室、2階は講義室と講堂、3階は図書室、演習室、 情報処理室などを配置しています。

深みのあるオレンジ色のカラーが印象的な校舎が姿を 見せるのももう間近です。



■◆
一起
100
力量
TSI
本斗
-(I)
~~
_ <i>i</i> =
絽
41,1-1
一个
71

総合診療科	消化器科	循環器科	腎臓内科	糖尿病内分泌内科	神経内科
小児科	リウマチ・膠原病・ アレルギー内科	膠原病内科	呼吸器科	腫瘍内科	リハビリ テーション科
外科	肛門科	整形外科	スポーツ整形外科	手の外科	乳腺科
救急科	透析センター	泌尿器科	麻酔科	ペインクリニック	画像診断科

詳細についてはお問合せください

0470-25-5011(予約番号)

月~金曜日 8:30~17:00、土曜日 8:30~12:00

救急科について



当院の救急センターは小児から高齢者まで、 発熱から外傷まですべての疾患を救急科医師 が対応する北米型ER体制*をとっています。

多くの病院では小児は小児科、腹痛は消化器科、胸痛は循環器科など症状で各診療科に振り分けられます。しかし緊急な状態で振り分けをすることは困難で、同時に複数の医師がかかわる必要がある疾患も数多くあります。これをすべて救急疾患の専門医である救急科医師が初期対応し、必要に応じてそれぞれの専門医と協力して診療する体制が北米型ER体制です。

現在救急科専属医師は2名で、それに亀田総合病院の応援を得て、日中はすべての患者さまに救急科医師が対応しています。

平成24年春に救急棟が完成したこともあり、救急受診患者数も増え昨年度は約24,000人が救急センターを受診され、そのうち救急車で搬送された方は約2,100人でした。これらの多くの患者さまを受け付け順に診療していたら、生命に危険がある方が後回しになります。

そこで当院では看護師が簡単な質問事項で病状を聞き、緊急度を判断するトリアージという方式を取り入れています。つまり緊急度の高い方から順番に診療を行い、混んでいても手遅れにならないようにするための方式です。そのため緊急度が低いと思われる患者さまの待ち時間が長くなることがありますので、ご了承ください。

当院は救急病院としては小さく、各科専門 医も不足しています。そのため当院で対応で きない疾患は、亀田総合病院救命救急センター に搬送することになります。

今後は夜間や日曜・祝日も救急科医師が対応できるようスタッフの確保をすすめるとともに、住民の皆さまがとりあえず医療センターに行けば何とかなると安心していただけるような救急センターを目指したいと思います。

※…ER は救急室 (Emergency Room) の略語



ふどうじ じゅんめい **不動寺 純明**

部長 救急科

日本救急医学会 指導医 日本外科学会 認定医

●出身地 …… 佐賀県

●趣 味 ………ドライブ、犬の散歩

●房総の好きな所・おいしいお魚

救急外来の受診について

救急外来を受診する際は、以下の点にご協力をお願いします。

- (1) 来院前に必ず電話連絡をしてください。(TEL 0470-25-5111)
- (2) 受診の際は、保険証・診察券・お薬手帳をご持参ください。

ノロウイルスの予防について

ノロウイルスによる食中毒は一年を通して発生がみられますが、11月くらいから増加し始め、12月~翌年1月がピークとなります。まさに今が流行のピークです。2通りの経口感染で感染します。1つは食品から、もう1つは人からの感染です。前者では、感染した人が調理などをして汚染された食品を食べたり、ウイルスが蓄積した加熱不十分な二枚貝などを食べることが原因となります。後者では、患者の吐物や糞便からの二次感染や、家庭や共同生活施設などでの飛沫感染が原因となります。

感染してから24~48時間で発症し、主には 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱が1~2日続 き後遺症もなく治癒します。しかし、子供や 高齢者では脱水により重症化したり、吐物を 誤嚥し肺炎になったり、吐物を気道に詰まら せ窒息し死亡することがあります。

ノロウイルスに対する予防接種や抗ウイルス 薬はなく、脱水の補正などの対症療法が主体 となります。その為、ノロウイルスに感染しない・感染させないこと、つまり予防が重要です。

【ノロウイルスから身を守る方法】

- (1) 流水と石けんで手を良く洗いましょう
- (2) フルーツや野菜を洗いましょう
- (3) 二枚貝は完全に中まで加熱しましょう
- (4)汚染した環境表面や衣服、寝具は塩素系 洗剤を使用しましょう

高温の乾燥機を使用すると効果が高まります

(5) 嘔吐や下痢など体調が悪いときには調理や他人の世話は控えましょう

詳しくは以下をご参照ください。 ノロウイルスに関するQ&A | 厚生労働省

http://www.mhlw.go.jp/topics/ syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

感染管理室 室長 医師 曾木美佐

栄養コラム~銅料理でがかかがか~

鍋料理は簡単に作ることが出来ます。

普段は出汁(だい)で味付けされる事が多いと 思いますが、少し趣向を変えて豆乳を使ってみ てはいかがでしょうか。

豆乳は胃腸にやさしく、良質なたんぱく質(高い栄養)が含まれています。

また、精進料理の中でも『養生三宝はうじょう

さんほう)』*と言われる食材の内の豆腐、白菜を合わせて心身ともに温まりましょう。

※「養生三宝」について

精進料理では大根・白菜・豆腐を「養生三宝」と呼び、 体によい食べ物として特に寒い冬に食べることを奨励しています。

栄養管理室 室長 福田有里

<材料/4人分>

- ●豚バラ薄切り肉 ***300g
- ●白菜 ••• 1/4 株
- ●絹ごし豆腐 ••• 1丁
- •しめじ・・・1パック
- ●人参 … 1/2 本
- 水菜 ··· 1/4 束
- 出汁のもと … 大さじ 2
- 水・・・・2・1/2カップ
- ●豆乳 … 2・1/2 カップ
- •しょうゆ… 大さじ2
- ●塩 … 小さじ 1/2

【豆乳鍋】 <作り方>

- ①豆腐は一口大に切る。しめじは小房に分け、 人参は5mm幅の輪切りにし花型に抜く。
- ②白菜は1枚ずつはがし、白菜と豚肉を交互 に重ね鍋の5㎝幅に切る。
- ③鍋に②を縁に沿って敷き詰め、中央に①の 豆腐・しめじ・人参を加える。出汁のもと を振り入れ、水・豆乳・しょうゆ・塩を加えて火にかける。
- ④沸騰したら蓋をして煮る。
- ⑤火が通ったら水菜をのせる。

※カロリー1人分 446kcal



防火訓練実施



11月22日(金)院内施設を火災発生場所に 想定した防火訓練を行いました。

当院では防災対策の一環として、職員に対し実践的な訓練を行い、防火意識の向上を図っており、年2回消防法に定められている防火訓練を実施しています。

今回は館山消防署の協力のもとに、初期消火、通報、避難、消火器や散水栓を使った訓練が行われました。



10月12日(土)ひまわり保育所で運動会が開催されました。みんなで作ったてるてる坊主のおかげで、お天気にも恵まれ、応援のみなさんもたくさん来てくれました。楽しみにしていたかけっこやお遊戯、玉入れなど元気いっぱいに頑張りました。

ふるさと企業大賞受賞



社会福祉法人太陽会は、地域総合整備資金貸付(ふるさと融資)を利用し、特に地域振興・地域経済の活性化と魅力あるふるさとづくりに貢献した者に贈られる「平成25年度ふるさと企業大賞(総務大臣賞)」を受賞し、10月30日(水)、都内のホテルで行われた授与式で、亀田信介理事長に表彰状が手渡されました。

受賞理由としては、安房地域医療センターが地元若年者を積極的に採用し、職員が安心して働き続けられる環境づくりに努力しているとした雇用面と、地域密着型の健康維持や増進、先進的な医療を包括させた地域ヘルスケアを提供し、地域の中核病院としての役割を担っている点が評価されたものです。

※ 安房医療福祉専門学校及試伝をいて

(仮称)安房医療福祉専門学校の入学試験が、1月11日(土)、2月8日(土)、3月8日(土)の3回にわたり実施されます。

2月、3月の入学試験については、願書受付期間がそれぞれ <math>1月14日~24日、2月17日~28日となっています。選考の種類や出願方法など、入学試験の詳しい情報は学校のホームページ (http://www.awa-school.jp)または開設準備室 (Tel:04-7099-0800)までお問い合わせ下さい。

編集

館山の夕暮れはとても美しい。鏡ヶ浦越しに見える富士山、影絵の様に映し出される船、そして館山城。寒い時季のこの景色は特に美しく、時間と共に変わっていく様々な色が心を落ち着かせてくれます。

花の色もまた同じです。暖かな日射しをいっぱいに浴びた元気色。香りも一緒に運んできます。 冬の澄んだ空気がくれた夕暮れの色、花たちに包まれた春の色。どちらもおひさまからの贈り物です。

